

令和6年7月12日

保護者様

北九州市立藤木小学校
校長 外山 典子

令和7年度からの2学期制実施について

梅雨明け宣言が待たれるこの気候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、タブレット端末を使った新しい授業が増えたり、学校行事の内容や形式が見直されたりするなど、コロナ禍は、これまで慣れ親しんだ教育活動を令和の教育活動に変えていく大きな契機となりました。

コロナ禍の時期に、授業時数を確保するために北九州市でとられた方策の一つが2学期制でした。このときはあくまでも臨時的な措置でしたが、以後、本格的に2学期制を導入した市内の小学校では、その教育的効果が認められてきました。その最も大きな効果は、始業式と終業式の回数が減るため、夏休みや冬休みの直前・直後の時間の多くを子どもたちの指導に使えることです。立ち上がりの準備やまとめの時間が減るので、授業以外にも、学校行事、個別の指導、教育相談などにも活用できるようになります。さらに、評価の対象となる期間が長くなるので、子どもたちのよさを見る場面が増え、現在よりも多面的に評価できることも期待できます。

本校では、このような2学期制のメリットを学校教育目標の実現に十分生かし、学ぶことが楽しくなる学校づくりを一層推進していく方針を立て、先月の学校運営協議会の委員の皆様にご承認いただいたところです。石峯中学校におきましても、小・中連携教育の視点から、本校の教育活動を理解され来年度から2学期制に移行していこうという見解です。このようにこれからも小・中学校で合わせられることは合わせていこうと考えております。

現在の北九州市の規則では、2学期制の実施には、教育委員会の認可を得ることが必要です。今後、教育委員会に申請し、認可が下りた後にあらためて保護者の皆様に新しい学期制による日程等をお知らせいたします。なお、本年度3学期制の小学校がすべて来年度から2学期制に移行する方針であることを確認できたため、北九州市全校で協議し、前後期の日程を統一することにしています。

本校では今年度まで3学期制ですので、7月19日の終業式の折に、1学期を振り返る「あゆみ」を子どもたちに渡すようにしております。評価はしておりますが、前年度までの「あゆみ」とは違い、所見の欄がありません。

学年末の「あゆみ」には所見の欄を設け、そこに1年間のがんばりや次年度へのはげましを表記させていただきます。

この学年末のみの所見を表記することに関しましても、全市の小学校で統一したことです。

どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。